

# 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:野村 正満  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 新世紀スタート

## 新年のごあいさつ

### 「希望の21世紀へ」

特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
会長 海部 幸世



みなさま、あけましておめでとうございます。  
昨年、全国協議会は設立10周年を迎え、数々の記念事業の開催とともに、念願であったNPO法人格を取得し、その活動が公的にも認知されることとなりました。まさにボランティアのたゆまぬ努力の成果であると思えます。

しかし、骨髄バンクを取り巻く環境は決してバラ色ではありません。移植3000例突破やドナー登録受付体制の拡充等大きな成果があったものの、ドナー登録者数の伸び悩み、骨髄提供時における相次ぐ過誤事例の発生、改善されない高額な患者負担金の存在、短縮されないコーディネート期間等々の問題を抱えております。

新世紀を迎えた今年、新たな気持ちで国内はもとより世界の骨髄バンク関係者と手を携えてより良い骨髄バンクの為にスピードを上げて前進していければと思います。

そして、1人でも多くの方が希望の持てる21世紀へ。

### 「一層の登録環境改善を」

厚生省保健医療局エイズ疾病対策課  
臓器移植対策室長 大澤 範恭



新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、骨髄バンク事業の推進につきまして、一言抱負を述べさせていただきます。

白血病などの血液難病の患者の方々に、広く公平に骨髄移植の機会を提供することを目的として、平成3年12月に発足した日本骨髄バンク事業も発足9年を経過し、骨髄提供希望登録者は13万人を超え、骨髄バンクを介して行われた移植は3000例を突破しました。

このように本事業が発展してきましたことは、ひとえに、事業の趣旨を十分御理解いただき、骨髄提供希望者として登録された方々や実際に骨髄を提供された方々の善意をはじめ、関係者の方々に並びに全国各地で支援して下さるボランティアの皆様のお力添えがあつてこそのものであり、深く感謝を申し上げます。

骨髄バンク事業の一層の推進には国民の皆様様の御理解、御協力が不可欠であり、そのために、厚生省といたしまして、平成12年度から、都道府県のほかに政令市、特別区もドナー登録受付業務を実施できる体制を整えるなど、ドナー登録希望者が登

### 「受入れ・検査体制の強化を」

日本赤十字社 事業局  
血液事業部長 大竹 一生



2001年の新しい年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

全国骨髄バンク推進連絡協議会におかれましては、これまで10年以上にわたって骨髄バンク推進運動に取り組み、大きな足跡を残されていることに敬意を表します。

我が国の骨髄移植は、本年11月16日に3000件を越え、関係者の方々のご努力に深く敬意を表すとともに、わが国の骨髄移植の進展に微力を尽くしてきた私どもとしても、心から喜びを感じているところであります。

日本赤十字社といたしましては、今後も骨髄データセンター

業務を適確に運営していくとともに、責任ある受入れ体制と検査体制のより一層の強化を図りながら、貴協議会の皆様方とともに、骨髄移植を必要とされる患者さんのお役に立つよう努力して参る所存であります。

最後に、貴協議会のますますのご発展と、皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

### 「新世紀の幕開けに」

財団法人骨髄移植推進財団  
理事長 小池 欣一



新しい世紀の幕開けを迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ご承知のとおり、昨年11月には、骨髄バンクを介した非血液縁者間骨髄移植が3000例に達しました。

当財団では、決意を新たにドナー登録30万人の達成に向けて、休日におけるキャンペーン登録説明会の積極的推進、普及広報活動の更なる強化を図るとともに、コーディネート期間の大幅な短縮を目標とした業務改革の推進、国際協力による骨髄移植の機会の拡大やドナー安全対策の一層の強化に努めるほか、近年の医学の進歩発展を踏まえて末梢血幹細胞移植のコーディネートネットワークにつきましても検討していく所存でございます。

省庁の再編をはじめとする行政改革の推進など、今日の社会経済情勢のめまぐるしい変化は、骨髄バンクを取り巻く環境にもさまざまな影響を与えておりますが、社会の要請に応え、あらゆる困難に打ち克つて着実に事業を推進し、たゆみなく前進を続け、私どもに課せられた責務を果たしてまいりたいと考えております。

引き続き暖かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協議会の益々のご発展と皆様方のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

### 「10年目を迎えた 公的骨髄バンク」

全国骨髄バンク推進連絡協議会  
理事長 野村 正満



明けましておめでとうございます。

昨年は私たちが全国骨髄バンク推進連絡協議会を法人化して新たなスタートを切りました。また設立10周年ということも、各地ボランティアの皆様のご協力をいただきながら、数多くの記念事業に取り組みさせていただきました。記念事業の一部は今なお継続中です。

さて、本年は骨髄移植推進財団が発足して、わが国で公的骨

髄バンク事業がスタートして10年という節目を迎えることになりました。非血液縁者間骨髄移植の実施数ははじめとした事業規模は年々増大してきていることは、誰もが否定できない事実であります。しかしながら、国の補助体制等は発足当初と変わりはえのない状況です。

事業開始10年という時に際し、抜本的な見直しをはかり、より機能するシステムを構築していくいい機会としていきたいと思っております。

さらに、昨年相次いで明らかとなった骨髄ドナーの事故をなくすため、ドナーの安全確保体制を確立することが、今年の骨髄バンクの大きな課題ではないでしょうか。

皆様とともに私も努力していく決意です。

## ヤフー・オークション大盛況

インターネット・オークションというのをご存知でしょうか。誰でもがインターネット上で品物を出品して、欲しいものがあれば誰でもが入札できるというものです。

日本最大のインターネット検索サイトで、1日1億ヒットという「ヤフー・ジャパン」から全国協議会はチャリティーオークションのお誘いをうけました。とりあえず、一昨年読売巨人軍選手会より提供していただいたグッズ類10品を2回に分けて出品することになり、第1

回5品を昨年12月上旬に2週間にわたってオークションを行いました。

最も人気があったのは清水隆行選手の公式パットに長嶋茂雄監督がサインしたもので、野次馬をふくめて、期間中2万人近くがこのパットのページにアクセスしました。

12月15日に第1回目を締め切りましたが、落札者の連絡等の作業を進めています。最終落札結果は5品で70万円程度になりました。

## 公開フォーラム 2月11日に 第8回理事会・第3回代表者会議

12月10日(日) 京都市の京都テラサで開かれた会議の主な議題は、次のとおりです。

理事会  
(協議事項)  
・役員選挙  
・公開フォーラム  
(報告事項)  
・白血病フリーダイヤル

代表者会議  
・役員選挙  
・公開フォーラム  
・骨髄採取事故  
・各地の報告

## 移植3000例 突破キャンペーン

### 東京

11月に骨髄移植数が3000例を超えたことを機に、12月3日(日)に財団の呼びかけによる全国一斉キャンペーンが展開されました。

東京と新潟の模様を紹介しましょう。

### 新潟

新潟は24カ所で行われました。拠点の新潟市では、ジャスコの協力と地元の大形中学校の生徒会の皆さん30人もの参加で、盛大に行われました。

参加者の感想文を紹介しましょう。



「私たち大形中の生徒会が今回の活動に参加したのは、昨年、大谷貴子さんの講演を聞いたのがきっかけです。骨髄バンクの話を知った私達は、もってこれを知ろうということで参加しました。

今回の活動を通じて私が思ったことは、まだ骨髄バンクに興味をもっている人が少ないということです。特に、二十代くらいの人たちはまだ知らない人が多いんじゃないかな、と感じました。でも、偶然なことにドナー登録者に出会うことができました。

こんなことがもつと増えたら、そしてもつと登録者が増えて、たくさんの方が助かったらいいなあと思います。とてもいい体験ができました。」

新潟・大形中2年 高橋彩乃



「生徒会の協力を得て」

新潟は24カ所で行われました。拠点の新潟市では、ジャスコの協力と地元の大形中学校の生徒会の皆さん30人もの参加で、盛大に行われました。

参加者の感想文を紹介しましょう。

### 心からのご寄付を ありがとうございました

11月21日～12月16日

青森県社会福祉協議会	現金	16,679円
東ちづる杯チャリティコンベン広島	現金	201,082円
わたしたちを忘れないでin広島	現金	120,000円
井上正幸	現金	50,000円
伊藤尚子	現金	3,000円
浅井みゑ子	現金	1,000円
切明隆	現金	20,000円
大分県高等学校ボランティア委員会	現金	2,000円
中島義則	現金	1,500円
イザワウヅウ	現金	2,000円
のあ	現金	4,635円
匿名	現金	9,520円
おかあさんのゆめ(山本有加理)	現金	250,000円
おかあさんのゆめ(山本幸之助)	現金	250,000円
匿名	現金	1,485円
中村恵美子	現金	4,000円
三木友美	現金	10,000円
飯尾孝博	現金	3,000円
豊島区明るい社会づくりの会	現金	100,000円
●佐藤さち子患者支援基金	現金	20,000円
切明隆	現金	100,000円
骨髄バンクを支援する会	現金	75,000円
今西弘	現金	1,058円
藤女子学園学園祭	現金	3,000円
●あやちゃん基金	現金	3,000円
佐藤直哉	現金	1,000円
海沼和子	現金	1,000円
桑原牧子・牧原愛	現金	1,000円

**活動資金の援助をお願いします**  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

## 3000のドラマ、 30万への希望 骨髄バンク全国大会in京都

「夢・いのち・愛」3000のドラマ、30万への希望をテーマに、財団主催の骨髄バンク全国大会が、12月9日夜6時10分から京都の国立京都国際会館で開かれました。

第1部のセレモニーにつき、第2部は「骨髄バンクの今、そして明日」と題して、30万人のドナー登録を目指した財団の課題について各スタッフが解説しました。



12月18日京都で開かれた、日本造血細胞学会で全国協議会がポスター展示を行いました。内容は10周年記念事業と、白血病フリーダイヤル案内・啓発さち子患者支援基金案内・啓発グッズの展示・東京の会作成「あやちゃんカレンダー」展示です。

医師・看護婦等医療関係者が対象ですが、「地元であやちゃん展を見て感動しました」「カレンダーはどこで買えますか?」「白血病と言われたら小冊子2号の発行を待ってます」と、声を掛けて下さいました。

展示に关しまして北折先生、愛知の中島さん、福島の斎藤さんにお世話になりました。(山村)

第3部の記念イベントは、骨髄バンクを介して生まれた様々な感動的なドラマを患者、ドナー、ボランティア、医療関係者などが登場して演出しました。最後に、全国のボランティアの代表者が登壇し、野村理事長が閉会の言葉をのべて終了しました。

## 造血学会で ポスター展示



## 各地の たより

### 宮城 仙台登録会場風景

12年最後のキャンペーン登録会を12月3日に予定し「リレー」に登録していたところ、たまたま3000例突破記念キャンペーンと重なったので、街頭ビラ配り係と集団登録に二分して対応。幸い今年4回目ともなれば場所も手慣れた仙台市立病院。斎藤副院長自ら問診を担当、吉永理事長はビデオ係、説明員は主に菊田としえさんと小野自子さん、私は説明の出番ほとんどなく、主にマスコミ対応に終始。実際、会場はTVと新聞社の取材で大賑わい、ところが結果は30人の受付で登録者は29人と目標の60%と低調。キャンペーン登録会も回を重ねると1回の登録者は減るのが自然の傾向、これからは回数で稼ぐか、他のイベントとの併催を考えよう等と締切間際に話し合っているところへ「街頭でビラを貰ったので」と若者が2人来てくれたので一同大感激で一日が終わりました。(藤江)



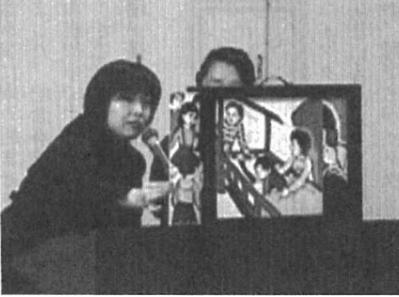
### 埼玉 コンクールに 2400の応募

埼玉連絡会主催の「第10回いのちを考える 読書感想文コンクール」の表彰式が、12月9日午後、浦和市の埼玉会館で行なわれました。今回は、第10回ということで、

## 各地のたよりを 写真を添えて お寄せください。

課題図書の対象を昨年までの1.5倍としたこともあって、総数約2400編の応募があり、どの作品も本を読んで感動した気持ちで素直に書き表されていて、甲乙つけがたい作品ばかりでした。実行委員会のメンバーは、その多くの作品の中から、優秀作品を選択するのにも苦労をしたそうです。今回表彰することになった優秀作品18編は、そのなかでも特に審査員の方達の心を強く打った作品が選ばれました。

表彰式の後、「ベルナのしっぽ」の作者である、郡司ななえさんの講演。その後、埼玉連絡会有志による「紙芝居 金色のくじら」の上演を行いました。会場の子供たちも画面に見入りながら、熱心に聞いてくれました。(山口)



### 静岡 おかあさんのゆめ

12月9日、伊豆半島の先端にある松崎で「おかあさんのゆめ」展が開催されました。今年1月に白血病で他界された山本多恵子さんの思いの溢れた、優しく美しい絵手紙の数々でした。家族へ、友人へ、一枚一枚心を込めて描かれた感動の作品が60点余り展示されました。

闘病への思い、夫への、息子への、娘への想い、そして周囲の人々への感謝と優しさ。そこからあふれるものに何も言えずに、ただまっすぐに心打たれた。

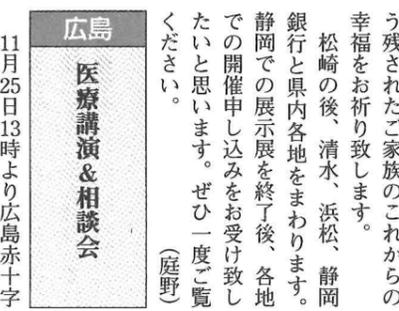


強く優しく生き抜いた山本さんの絵手紙にひかれ、2日間で400名あまりの人々が会場を訪れました。

4年前、山本多恵子さんを中心に松崎で「金色のくじら」の上映会が開かれました。同じ会場で今、彼女の絵手紙展が開催されています。

骨髄バンクの活動に思いをよせた彼女の意志を大切に引き継いでいきたいと思えます。そして大きな心残りであったであろう残されたご家族のこれからの幸福をお祈り致します。

松崎の後、清水、浜松、静岡銀行と県内各地をまわります。静岡での展示展を終了後、各地での開催申し込みをお受け致したいと思えます。ぜひ一度ご覧下さい。(庭野)



### 広島 医療講演&相談会

11月25日13時より広島赤十字研修センターにて、血液難病医療講演会&相談会を開催いたしました。

広島大学医学部附属病院小児科の上田一博先生による具体的な、わかりやすい講演に、35名の参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

また、広島県の山岡相談員には、主に患者のための福祉制度について話をいただきました。

昨年、骨髄移植を受けられ元気になられた患者のお母さんから、高校生のお母さんからの発病の様子から、わが子を救うため街頭に立ちドナー登録を呼びかけるため、多くの人に協力して

もらった体験をお話してもらいました。

質問タイムでは、骨髄移植でしか生きられないと宣告された青年から「ドナー」の出現を待たずだけで自分でも何か行動したい」と言う彼の前向きで、かつたむきな闘病姿勢に心うたれるものがありました。心なしか参加者に活気が蘇ったようでした。

その後、個別の相談では各自じっくりと悩みを話し、先生方も丁寧にご回答くださいました。16時30分から食事をしながら交流し、楽しいひとときを過ごすことができました。参加された方々に情報交換の場を提供できて、大変有意義な会となりました。(つばさの会・土居)

このたび中日新聞社主催の第48回中日社会功労賞をいただきました。

社会功労賞は地域社会のため地道な活動をひたむきに続けている人をたたえ、毎年中部9県11人に社会功労賞が贈呈されているものです。

今までも

この受賞をきっかけとして骨髄バンクへの理解が広がることを、さらにドナー登録が進むことを祈念いたします。

副賞の30万円は骨髄移植推進財団と全国協議会、岐阜募る会に贈らせていただきました。ドナー登録30万人に向けて共にならばりましょう。

(岐阜募る会・田中重勝)



写真：中日新聞社提供

三共株式会社

# GET POWER! Regain!

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に 成人(15才以上)1日1回1本。  
J-リゲイン 100ml・194円 / リゲインA 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円 【医薬部外品】  
価格はすべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/